

事務事業名	アダプトプログラム推進事業		所属部局	市民部		単位番号	4115									
			所属課室	環境課		課長名	深澤政樹									
	☐ 実施計画事業		所属担当	ごみ減量化推進担当		担当者名	小笠原良仁									
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政 策	計画	20 快適生活環境の整備	事業区分	01	一般	0	4	0	1	0	5	0	4	0	0	2
施策	体系	33 生活環境の保全		☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業												
				☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業												
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠	南アルプス市アダプト・プログラム実施要綱												
	☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)															
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)												
	地域ボランティア及び企業ボランティア17団体による、公園、道路、河川等のごみ拾い等の清掃ボランティア活動。			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)												
				消耗品費 20												
				その他保険料 96												
				計 116												

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	22年度活動実績	市内17団体による清掃ボランティア活動 ※事業計画により実施
	23年度活動予定	1団体より活動停止の報告があり、16団体による清掃ボランティア活動の実施
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	地域の美化 ※団体が住居している地域の美化	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	清掃美化活動等によりきれいな町並みにする。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	生活環境の保全	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア ボランティア団体数		団体
	イ		
	ウ		
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア ボランティア団体数		団体
	イ		
	ウ		
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア ボランティア活動の回数		回
	イ		
	ウ		
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア 満足度		%
	イ		

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	115	87	30	10	10	10	
	事業費計 (A)			千円	115	87	30	10	10	10	0
	人件費	正規職員従事人数		人	2	2	1	1	1	1	
		延べ業務時間		時間	30	30	15	15	15	15	
		人件費計 (B)		千円	134	134	59	59	59	59	0
	(A)+(B)			千円	249	221	89	69	69	69	0
活動指標		アイ	団体	17.0	17.0	16.0	16.0	16.0	16.0		
		ウ									
対象指標		アイ	団体	17.0	17.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	
		ウ									
成果指標		アイ	回		60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	
		ウ									
上位成果指標		アイ	%								
		イ									

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	合併以前に白根町で導入した事業。 ※地域の美化活動については、これと違う形(自治会等)で実地している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	申請済のボランティア団体の数の増加はない。ただし、地域の美化活動は、ボランティア登録していなくても、会社の周り等の清掃活動を実施している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	特に要望等の意見は無く、自主的な活動となっている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	ボランティア団体の自主活動となっており、同一事業に組み込める。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	同一事業に集約。

事務事業名	アダプトプログラム推進事業	所属部	市民部	所属課	環境課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 地域の清掃活動により、環境美化につながっている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 ボランティア活動に関して、市が実績等の報告を求めることに疑問が生じる。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 要望等が無く、自主的活動を展開している。 ※類似事業の集約し、事業に係わる人員、予算等を効率よく。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 類似事業を統一することにより、人的にも予算的にも有効かつ効率よく事業展開が可能。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 類似事業を統一することにより、人的にも予算的にも有効かつ効率よく事業展開が可能。
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 生活環境の美化意識の低下。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 地域の生活環境が劣悪となる。 ※廃止はできないが、統合はできる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 同一事業を集約することにより、予算も集約可能となる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 同一事業を集約することにより、事業に係わる人員も効率よく対応できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 市民全体が環境保全・美化の意識を高めるための事業である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	地域の清掃活動としては有効な手段であるが、類似事業を集約することで効率よく事業展開できる。また、自主的な活動を推進する必要性がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①類似事業の集約		(5) 事務事業優先度評価結果																						
②		成果優先度評価結果	⑥																					
③		コスト削減優先度評価結果	⑨																					